

たかのす

昭和44年5月14日 第3種郵便物認可(1部16円)

人口と世帯数

(住民基本台帳による)

10月31日現在		(前月比)
総人口	25,396人	(5人減)
男	12,359人	(5人減)
女	13,037人	(増減なし)
世帯数	7,052世帯	(3世帯減)

編集と発行 鷹巣町役場総務課広報係



No. 397

53・12・1

民芸品作りに精を出す佐藤ナツさん(湯車・82歳)。
ミニのケラにスゲガサ、ワラジを添えた民芸品を作り始めたのが八年前。最初は失敗もあったというが、そこは若いときから、ケラやスゲガサを作り続けてきただけに上達が早く、立派な民芸品として店頭飾られている。
ナツさんは、土用に入ると一年分のイグサ取りから始まり、乾燥、仕分け、そして製作とまったく一人でやっている。細かい仕事だけに完成には四日はかかるというが、めずらしさもあって作ったもののほとんどが友人や親類のおみやげに喜ばれていますと、顔をほころばしていました。



次は あなたです

住居表示案・審議会に諮問

実施区域・町割・町名など

第二回住居表示審議会は十一月十日午後一時から役場で開かれ、町長から▽実施区域について▽町割り、街区割りについて▽町名についての諮問案が提示されましたが、審議会では、住民の意向を聴きながら慎重に審議のうえ、早期に答申を出したいとしております。

実施地域は旧町内

町長から審議会に諮問した内容を見ると、住居表示の実施地域は、当初、都市計画用途指定地域全域を予定しておりましたが、舟見町、あけぼの町、南鷹巣、田中などの地域は第二次分に回し、今回の諮問では伊勢町を含む旧町内百二十二万八千三百八十平方メートル、二十

七世帯を対象としております。

この地域には、現在、西塚岱、北家後、東鷹巣、北鷹巣といった字区域名が十八、また米代町、北新町、学校通りなどの通称町名は二十八ありますが、これを統廃合し、別表のとおり十一の町割りとし、町名も第一案が、都市計画前後の町名を考慮したものと、第二案では字名を考慮したものの二案で諮問しております。

住民の意向を尊重

町では、実施地域住民の協力と理解を得ながら作業をすすめるため、チラシの配布や協力委員への説明会の開催。また、協力委員を通じて、できるだけ地域住民の声を

を聴くとともに、町内会の要請により説明会を聞くなど、住民の意向を尊重しながら作業をすすめていくことにしております。

なお、新しい住居表示の実施は、明年十二月一日を予定しており、町では、これに必要な「新町名及び新町の区域を定める議決」を、明年六月の町議会で決定を得るよう、それぞれの作業を急ピッチですすめていくことにしております。住居表示実施予定地域の方で、この制度についてわからないことや疑問点がありましたら、役場建設課計画係（電話二一一一・内線二六九）にご連絡ください。くわしくご説明いたします。

実施地域の町割表

番号	町名		戸数
	第1案	第2案	
1	三吉町	大平町	261
2	仲町	屋敷町	163
3	西横町	寺町	115
4	住吉町	住吉町	243
5	松葉町	松葉町	283
6	末広町	材木町	210
7	花園町	花園町	165
8	東横町	横町	181
9	八幡町	八幡町	99
10	旭町	旭町	197
11	伊勢町	伊勢町	100
			2,017

住居表示実施区域及び町割街区図



町長日誌

11月1日～11月15日

- 1日 鷹巣町住居表示審議会
- 3日 秋田相互銀行経済懇談会
- 3日 文化祭開会式
- 典 芸文協創立十周年記念祝典
- 4日 秋田県スポーツ振興審議会
- 4日 秋田市
- 7日 知事、全県町村長行政連絡会議
- 7日 秋田市
- 8日 町内工事現場視察
- 9日 老人福祉大会
- 10日 鷹巣町戦没者合同追悼式
- 10日 鷹巣・阿仁部医療を考える集い
- 14日 十二段トンネル貫通式
- 14日 西木村
- 15日 南小学校収獲感謝祭
- 町内道路視察

議会日誌

- 11月1日～11月15日
- 1日 産業経済常任委員会
- 3日 町民つりデー
- 10日 鷹巣町戦没者合同追悼式
- 11日 鷹巣・阿仁部医療を考える集い
- 13・14・15日 決算特別委員会

福祉手当の支給は

十二月六日です

お忘れなく!!

老人福祉大会開く

『三老人クラブを表彰』
声かけ運動など宣言

町の「老人福祉大会」が、十一月九日午後一時から鷹巣小学校講堂に三百五十人の老人クラブ員が参加して開かれました。

大会では、町が五十三・五十四年度の二カ年間、秋田県「老人福祉の町」に指定を受けた認定書が知事（代理）から交付されたあと、出川町長から優良老人クラブとして▽生きがいを資金活用により養蚕を復活させた脇神老人クラブ（花田万次郎会長）▽長いも、ゴボウなど特産品の生産活動続ける太田老人クラブ（松尾市治会長）▽児童公園の清掃や生きがい花壇な



町営住宅28戸完成

＝南鷹巣団地の再開発すすむ＝

南鷹巣団地に建設をすすめていた町営住宅二十八戸が完成しました。

完成した住宅は、簡易耐火構造二階建て、一戸当りの面積は五十八・五平方メートル、それに三・九平方メートルの物置。一階は台所兼居室、洗面所、浴室、便所。二階は六畳二室となっております。

事業費は、主体工事一億一千四百三十三万円、側溝や舗装などの附帯工事に一千三百三十二万円、老朽住宅解体費四百九十五万円、総額一億三千二百六十万円でした。なお入居者は、南鷹巣団地再開発により、来年度解体予定の二十三世帯が特定入居。公募による入居は五世帯でした。

ど環境美化運動の鷹巣老人クラブ（長谷川慎一郎会長）の三団体が表彰を受けました。

続いて、伊原勇一老人クラブ連合会長が①成人病予防、郷土の緑化、交通安全、生涯教育など明るい町づくり運動に、地域とともにすすんで参加し実践しよう ②声かけ運動の展開により、地域社会を明るくする先駆者になろう ③ひとり一人の教養と趣味活動高め、老後の生きがいを豊かにしよう——の大会宣言を朗読し、満場一致で決議して大会を終わりました。

大会終了後は、秩父威仙氏の「老後の幸せを考える」の講演のあと、歌謡漫談の大潟八郎さん、歌手の松田晃二さんのアトラクションを楽しみ午後四時に散会しました。



西小・全日本特選校

受賞をたたえ祝賀

『児童は餅つき大会』

昭和五十三年度の全日本健康優良学校小規模校部門（十一学級以下）で、特選優良校の栄誉に輝いた西小学校では、十一月十九日同校で祝賀会を開き、受賞を喜びあいました。

西小学校の健康教育は、頭と心と体の調和のとれた子どもの育成をめざして実践。これまで優良学校秋田県一表彰連続三年、全日本よい歯の学校表彰連続五年、その他数多くの受賞や公開が行われ、その教育活動は各方面から高く評価されています。

当日は、同校の体育館で午前九時から、出川町長を始め三沢教育委員長、高橋教育長、中島北教育事務所長など教育関係者、それに地域住民多数が出席して受賞をたたえました。



また同十時からは、児童たちが学校田から収穫したモチ米で「祝賀餅つき大会」をし、お昼には腹いっぱいのお雑煮を食べ、楽しいひとときを過ごしていました。



農業後継者対策事業

農業を膚で体験

南小学校で収穫感謝祭

南小学校(大川多郎兵衛校長)

では、十一月十五日午前十時から七日市基幹集落センターで、学校の圃場から生産した農産物で「収穫感謝祭」を行い、お昼はきりたんぼやおにぎりで収穫を祝い合いました。

南小学校は、町が昨年度から五年事業として国から指定を受けた「地域農業後継者対策特別事業」の一環として、教育連携部門を推進。野外農業教室として、先進農家や農業施設の見学、学校圃場での勤労体験学習を行っているもの

です。

当日は、同校の四、五年生五十人にお母さんたち四十人も参加。出川町長のあいさつのおと、農業改良普及員を講師に、児童は「米づくりの移り変わり」についての講話、千歯こき、足ぶみによる脱穀の実習。お母さんは「食品衛生と家族の健康」について勉強しました。続いて、しそのみじん切りやこんぶ、梅干しなどを材料にしたおにぎりの調理実習。お昼は、自分たちで作ったおにぎり、それにお母さんたちが準備したきりたん

ぼを食べ、収穫を祝い合いました。南小学校では、昨年から学校圃場での実習や先進地農家の見学、そして収穫祭など行っていますが、生きた農業の勉強に、児童たちは農業に関心と理解を深めてきているようです。

融資のお知らせ

県では、中小企業への融資を次の要領で行っています。

年末特別融資は、貸付限度額が一千万円以内(組合の場合は五千万円以内)で融資期間は一年以内(六ヵ月据置)、利息は年五、九%以内、保証料は年率〇、九五%となっており、受付期間は十一月一日から十二月二十八日まで。

共同事業資金融資は、設備資金が組合一億円以内(組合員の場合は一千万円以内)で融資期間は七

英霊の冥福を祈る

戦没者合同追悼式開く



町の戦没者合同追悼式が十一月十日鷹巣農協ホールで開かれ、百五十人の遺族が出席して町内の戦没者六百八十五柱に献花、英霊の冥福を祈りました。

戦没者の慰霊祭は、地区ごとに毎年開かれておりますが、三年に一回全町合同で追悼式を行っているものです。追悼式では、菊で飾られた祭壇に拝礼、全国戦没者の冥福を祈る一分間の黙とうのあと、河田太茂蔵連合会連合会長の式辞、続いて出川町長、沢田議長、富田福祉事務所次長が追悼の言葉を述べたあと、出席者が戦没者の英霊に献花を行い父や夫、兄弟の冥福を祈りました。

危険物取扱者試験

れぞれ午前十時から午後三時まで、無料入権相談所を開設します。土地家屋の権利問題、親子、夫婦、扶養、相続、登記、戸籍、供記、交通事故等の問題でお困りの方は気軽に相談においでください。相談事項は一切秘密にあつきます。

五十三年度第二回危険物取扱者試験が、五十四年一月九日(日)

大館南高校(大館試験場)で行われます。

受付期間は、十二月一日から十二月八日まで、秋田市山王四丁目一番一号 秋田県民生部消防防災課あてとなっております。

くわしいことについては、鷹巣消防本部へおたずねください。

無料入権相談所

なお、申し込みなどのくわしいことについては、各金融機関または鷹巣町商工会、役場商工観光課へおたずねください。

十二月一日(金) 坊沢公民館、同十一日(月) 鷹巣公民館で、そ

収穫感謝祭の式典



千歯こぎで脱穀の実習をする児童



＝昭和 54 年 度＝

— 保育園児入所 —

— 申請受け付け —

昭和54年4月より入所を希望する保育園児の受け付けを次により行っています。

記

①申し込み期間

12月1日より12月26日まで

②申し込み先

申請用紙を役場町民課福祉係か各保育園から交付をうけて、福祉係に提出してください。

③入園通知

2月下旬まで保護者に可否を通知します。

④各保育園と定員

鷹巣保育園＝90名

うち三歳未満児 30名

南鷹巣保育園＝150名

うち三歳未満児 45名

七日市保育園＝60名

うち三歳未満児 12名

綴子保育園＝60名

うち三歳未満児 12名

中央保育園＝90名

うち三歳未満児 20名

東保育園＝60名

うち三歳未満児 12名

西保育園＝50名

四歳以上児に限る

竜森保育園＝30名

四歳以上児に限る

※なお、現在入園中の方、保留される方もあらたに申請してください。

保育所とは………

児童の保育は、本来その両親の家庭において行われることが最も自然の姿であり理想ですが、その家庭において保護者が労働に従事したり、あるいは疾病にかかっているなどのため家庭において十分保育することができない児童を、保護者にかわって保育することを目的としています。

したがって、学校や幼稚園のように教育的要請の見地にもとづくものでなく、家庭の保護者にかわって児童を保育するところです。



保育園に入所した場合の保育料は、扶養義務者の所得（負担能力）により、無料から14階層に分けられて徴収されることになっています。

下記の表は、53年度保育料の

徴収基準表ですが、54年度は各階層とも6%程度の加算が見込まれます。

なお、入所や保育料など詳しいことは役場町民課福祉係にお問い合わせください。

昭和53年度保育料徴収金基準表

各月初日の在籍措置児童の属する世帯の階層区分		徴収金基準額（月額）	
階層区分	定 義	3歳未満児	3歳以上児
A	生活保護法による被保護世帯（単給世帯を含む）	0円	0円
B	A階層を除き前年度分の市町村民税非課税世帯	0	0
C ₁	A階層及びB階層を除き前年度分の市町村民税非課税世帯の所得割の額が5,000円未満	4,050	3,400
C ₂		5,050	4,000
C ₃		5,850	4,800
D ₁		3,000円未満	6,450
D ₂	A階層及びB階層を除き前年度分の所得割の額が5,000円以上	3,000円以上15,000円未満	8,700
D ₃		15,000円以上30,000円未満	9,750
D ₄		30,000円以上60,000円未満	13,150
D ₅		60,000円以上90,000円未満	18,000
D ₆		90,000円以上120,000円未満	23,350
D ₇		120,000円以上150,000円未満	34,200
D ₈		150,000円以上180,000円未満	38,800
D ₉		180,000円以上210,000円未満	42,600
D ₁₀		210,000円以上240,000円未満	46,400
D ₁₁		240,000円以上	保育単価

12月1日から

道路交通法がかわります



道路交通法が、七年ぶりに大幅改正され、今日十二月一日から施行されます。

今回の改正は二・三人に一人が運転免許を持つ「国民皆免許時代」を迎えて、クルマ社会の新しい秩序づくりをめざすものです。

主な改正内容は次のとおりです。

自転車の通行安全

歩行者用信号に従って通行を

自転車は、(歩行者、自転車専用)という標示がある場合、歩行者用信号の指示に従うことになりました。

現在、信号機は、車と歩行者用の二種類で、これまで自転車は車の信号機に従ってきました。しかし車と一緒に並んで走るのが危険な場所や交差点がふえてきました。このため、新たに「歩行者、自転車専用」の標識がついた歩行者用信号が設けられることになりました。標式の文字は白地に青い色で書かれています。

このような信号機のあるところでは、歩行者と自転車は同じ信号機に従うこととなります。

歩道では車道よりを徐行して下さい

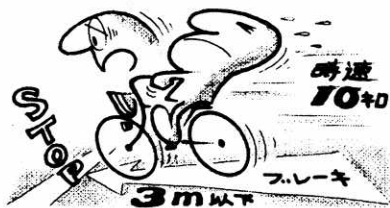
自転車の、歩道での通行が制限されます。これまで二輪の自転車だけは、標識のある歩道を通行で

きました。

ところで最近、自転車を利用する人がふえ、歩行者との接触事故も増加する一方です。そこで、歩道での通行は、中心から車道寄り走り、速度は、歩行者にぶつかりそうになったら必ず止まれるスピード、つまり「除行」でなければなりません。また歩行者にぶつかりそうなときは、必ず一時停止しなければいけません。

ブレーキの整備不良は処罰されます

自転車の安全基準が決められました。



これまで自転車には、車の車検のようなものではなく、安全基準は野ばなしでした。そこで今回「これだけは、安全運転に必要」という「安全のための最低線」が決められました。

まず、ブレーキです。ブレーキが不良で、思うように止まれない自転車ほど、危険なものはありません。時速十きの速度で、三秒以内で停止できるブレーキが基準とされ、ブレーキ不良の自転車に乗っていると三万円以下の罰金です。また、夜間は尾灯か反射器材をつけなければいけません。しかも百以後方から確認できるものでなければ失格です。色は赤色、またはダイダイ色で後ろから見える場所であれば、大きさやそれをつける所は、どこでもかまいません。

自動二輪、原動機付き自転車

ジグザグ運転横列運転は懲役六ヵ月

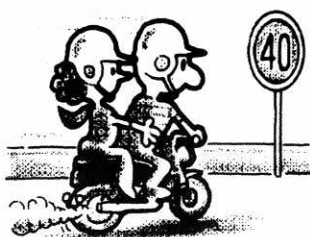
暴走族に対する取り締まりが、一段と強化されました。

これまでは、自動二輪車が道路を横いっぱい広がつて走っていても、センターラインを超えた場合は検挙できるものの、左側通行車線内では取り締まることができませんでした。

これが十二月一日からは、二台以上の自動二輪車や車を横に連ねて運転したり、道路いっぱいに広

がつてジグザグ運転、走っている車を包み込んでのいやがらせなど、共同して交通を妨害したり、他人に迷惑をかける行為をした場合は、全部の車が取り締まりの対象になります。罰則も厳しく懲役六ヵ月以下、罰金五万円以下。違反点九点で、無免許運転より重い行政処分を受けます。

ヘルメットの着用が義務づけられました



自動二輪車、原動機付き自転車の乗車用ヘルメットの着用が、義務づけられました。

自動二輪車に乗る時は、運転する者も、荷台に同乗する者も、必ずヘルメットをかぶらなければいけません。いままでは、最高速度四十き未満の通路なら、ヘルメットは不用でしたが、これからは、ヘルメットなしでは自動二輪車には乗れません。

原動機付き自転車に乗って買い物に出かけるお母さんたちも、必ずヘルメットをかぶって運転しましょう。

運転免許制度

“うっかり免許失効”
は六ヵ月まで救済

免許証の切り替えを、ついすっかり忘れた「うっかりサン」への朗報です。

三年目ごとの誕生日前一ヵ月間、運転免許証の切り替え日ですが、うっかりすると忘れてしまいがちです。

昨年一年間で、運転免許証の切り替えを忘れた人は、全国で三十四万人もいるのです。ただ、誕生日後三ヵ月間は、適性検査を受けて合格すれば、免許証は交付されます。昨年、この期間に思い出した人が二十七万人。問題は残りの七万人です。三ヵ月を一日でも過ぎると、学科試験、技能検査を受けて——つまり、初めからやり直しということになるのです。

このような“うっかりサン”を救おうと、これまで三ヵ月だった“救済期間”が六ヵ月に延長されました。

行政処分

無車検、無保険
も違反点

いままでは道路交通法違反に問われるのみで、行政処分を受けなかった次の違反も、今後は処分の対象になります。



無車検、無保険（強制保険）はいずれも違反点六つ。車庫代わり道路を使用した“青空駐車”は二点。夜間の八時間以上の路上駐車が一点。

この四つは車を持つ者の最低の責任で、守れない人は車を持つ資格がないといえるでしょう。

優良ドライバーに恩典

優良ドライバーには、恩典があります。

厳しい取り締まりばかりが、決して能ではないというわけです。優秀な運転者にはごほうびをあげ



免許取消

一層、安全運転に心がけてもらいたいというわけです。

二年間、無事故・無違反の運転者が、スピード違反や信号無視など違反点二点までの軽い違反を犯し、その後三ヵ月間無事故・無違反だった場合は、この違反点数からはずされます。

いままでは、この点数の“消却期間”が一年でしたから、四分の一に大幅に短縮されたわけです。

“酒酔い”は免許取り消し

麻薬や覚せい剤を飲んだの運転と、酒酔い運転は厳罰で、一度の違反で免許は取り消されます。

“麻薬・覚せい剤運転”は、これまで過労運転並みの比較的軽い処分（違反点六つ）でした。しかし、大事故につながる危険性が強いという、麻薬、覚せい剤の常用による中毒症を防ぐ意味も含めての厳罰（十五点）です。

酒酔い運転は従来、十二点でしたが、この改正で十五点に引き上げられました。麻薬、覚せい剤運転と並んでの“最高点”です。

お知らせ

交通無事故運動

鷹巣地区交通安全協会（十一支部）では、十二月一日から明年の一月三十一日までの二ヵ月間、無事故運動を行います。

運動は、各支部単位の競争で行われ、無事故支部は表彰されます。各支部とも、無事故・無違反で表彰を受けるようがんばってください。

警察からのお願い

県内におけるこれまでの重大交通事故は、その大半が▽酒酔い運転▽スピード違反▽無理な追越し違反が原因です。

このような運転を、家族、職場、事業所ぐるみで話し合いをし、「しない」「させない」をモットーに事故防止につとめてください。

年末の交通安全運動

12月1日（金）～12月10日（日）

運動の重点

- ① 安全歩行と安全運転の促進
- ② 飲酒運転の徹底追放

また、これからは時期的に、居眠り運転事故も多くなります。過労運転とならないよう十分注意してください。

年賀状の差し出しは遅くとも二十日まで

郵便局では、十五日から年賀状の受け付けが始めますが、元旦の配達に間に合わせるため、遅くとも十二月二十日までにお出しください。

年賀状を出しになる時は「鷹巣町」と「その他」に分けて、簡単な紙札をつけ、郵便局で配布した差出袋をお持ちの方は、それぞれの袋に入れたうえ該当するものに○印をしてお出し願います。

また、お年玉つき年賀はがき以外の普通はがき（私製など）を使用する方は、表面に「年賀」と朱書してください。郵便番号はあて先だけでなく、差出人であるあなたの番号もお忘れなく。

日中友好秋田県農業青年の翼 訪中二週間の報告 ④

食糧増産に励む中国

糠沢米沢正一 (40)



万里の長城で、米沢さん

秋の収穫を前に、二週間の日中友好青年の翼に参加。北京、陽泉、南京、揚州、上海の各地区を視察し、感じるままを記してみたいと思います。

私たちは、どこへ行っても条約締結を祝し、日本と中国は子々孫々のつき合いを願いたい、熱烈歓迎を受けました。

車の外は見渡す限りの広大な畑で、トモロコシ、コーリヤン、ヒエ、アワ等が作付され、道路の両側にはプラタナスの並木が直射日光をやわらげ、人民を暑さから守っています。雨の時は土砂くずれを防ぎ、側溝は耕地を守るとい

へ行っても毎日が日本の祭典のような人の波で、国土の広さと、資源の豊かさとともに、人間の多いのには驚きました。

今中国は、この人々のために農業を第一に考え、併せて工業も大切にしており、特に「農業は大事に学べ」を合言葉に全国運動を展開し、一つでも多くの大衆方式を増そうとしています。

私は、生産組織が成り立っている共同隊「人民公社」に、集落農場化等特に関心があつたので、浮頭人民公社を例に、ちょっとふれてみたいと思います。

人口二万六千人、耕地八百八十七町歩、ちょうど綴子農協管内に鷹巣町全体の人口が住んでいることになりました。組織体として大隊十三の下に、生産隊百二十七班が

あり、耕地は整備し、特に排水を年次計画で八キロメートルとし、農閑期を利用して農転(天地返し)をします。家畜は種豚の改良を主に、鶏、鴨、魚の養殖、教育・医療施設は小学校十三、中学校十一、医院一、合作医十二、学童六千二百一人、生産高は日本円で約二億六千万円、内訳は穀物類一億円弱、魚・家畜五千万円、工業生産一億一千万円(施盤、歯ブラシ、ボタン等)となっています。

どこの公社も専従の事務員はいなくて、労働時間は八時間、十点を基準に自主申告するようになっており、給料は年何回かに分けて仮精算を行い、年末で総決算、問題が生じた場合は大衆で討議し、がんばった人には奨励金も出ます。農家の家族数は五人ぐらいが一番多く、二家族が一母屋に住んでいます。月給四十元(一元が日本円で百五十円)の収入で、けつして所得は高いと思われないが生活費の内、食費は十五元、住宅費、水道電気が五・六元、約四割を特別の支出がない場合貯金できるそうです。服装は質素で、普通ズック靴に長ズボンと上衣。「今の生活に満足しているか」の問いに、「満足している」「望む事はないか」の問いには、「主食を小麦粉か米にしたい。テレビが欲しいが、金がある程度に買えない」と答えてくれました。農産物も質より量を重んじ、日本の種ナスのような特大の品が山積みして売られ、農業のすべての指導機関も土壌肥料を主とした多収穫技術の研究がなされていました。



人力による防除(南京人民公社)

教育にも非常に力を入れていて政治教育はもちろん、精神教育が先行していて、教科書だけの授業でなく「働いて学ぶ」教育が行われています。語学は日本語と英語に力を注いでおり、幼稚園の園児等は日本の歌で歓迎してくれました。子どもたちが課外活動でホーキやチリトリを持って道路掃除しているのにも感心しました。世界人民皆同志という意識を持つこの子どもたちの時代になると、中国はどうなるのかと思ってきました。私たちは秋田県と接した人民公社の人たちは、秋田県の稲作技術を学びたいと言ひ、だからといってすぐに機械を取り入れた農業をするのではなく、技術を取り入れ、自力で開発しようとする姿、考え方に大変心を打たれました。

- ▽犬は空を飛ぶか.....柴田翔
- ▽わが師・わがことば.....黒田一
- ▽わが復員・わが戦後.....大岡昇平
- ▽ある補充兵の戦い.....大岡昇平
- ▽無罪.....大岡昇平
- ▽私だけの安曇野.....丸山健二
- ▽谷の思想.....武田太郎
- ▽大学運動のなかで.....窪田精
- ▽この風の音を聞かないか.....
-渋谷黎子
- ▽種蒔くひとびと.....小牧近江
- ▽瓦板昭和文壇史.....巖谷大四
- ▽人の砂漠.....沢本耕太郎
- ▽雄気堂々(上・下).....城山三郎
- ▽独りきりの世界.....石川達三
- ▽魂の試される時(上・下).....
-丹羽文雄
- ▽死にたがる子.....藤原審爾
- ▽アルペール・カシユ(その光と影).....白井浩司
- ▽結婚の四季.....平岩弓枝
- ▽親の立場・子の立場.....山田桂子
- ▽婦人グループ活動.....千野陽一
- ▽新しい家庭づくり.....藤枝文子
- ▽農家のくらしを考える.....
-山田民雄
- ▽農業は農業である.....守田志郎
- ▽農家と語る農業論.....守田志郎
- ▽庭の花づくり.....石田宵三



新刊図書案内

カメラ・ルポ

カメラ・ルポ

カメラ・ルポ

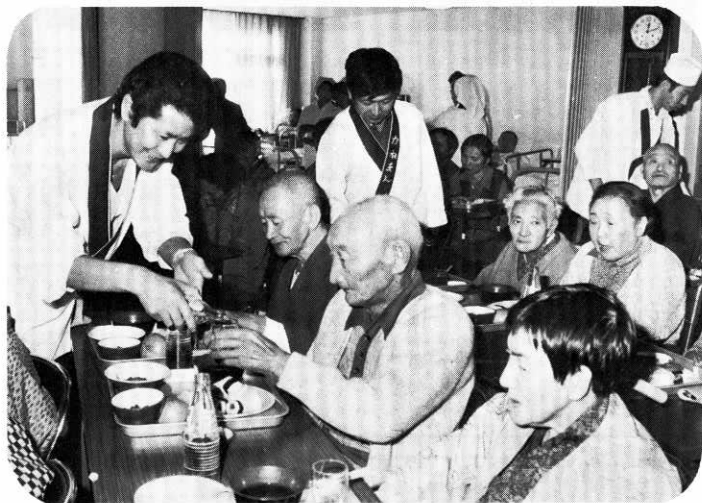
町内の施設を見学

『郷土に対する理解を深める』

町内の施設や自然など、広く町を知っていただき、郷土に対する理解を深めてもらうための「施設めぐり」が、十一月十五・十六日の両日行われ、舟場婦人学級と寺田服装専門学校生徒が参加しました。

午前九時、出川町長からの概要説明のあと、議場、屋内プール、し尿処理場、と畜場、浄水場、墓地公園、運動公園などを職員の説明でみて回りましたが、参加者は初めてみる立派な施設に、町政への理解を深めたようでした。

なお、施設めぐりは十五人から二十人程度の希望により随時行いますので、総務課広報係にご連絡ください。日程を調整のうえご案内します。



今年もすしの贈り物

『すし屋さんが青山荘を慰問』

町のすし環境衛生同業組合の人たちが、このほど百十一人が入居している綴子の特別養護老人ホーム「青山荘」を訪れ、お年寄りたちにすしをサービスしました。

すし組合の人たちが、青山荘を慰問するのは今回で六回目。温かいご飯とトロやハマチなどのネタを持参したすし屋さんは、一時間ほどで百八十人前、米にして十八分のすしを握り上げ、ホールに集まったお年寄りたちに「いつまでもお元気です」と、サービス。お年寄りたちは、おいしいすしにお喜びでした。

急患などで意見交換

『地域医療を考える集い』

大館北秋田郡医師会主催の「鷹巣阿仁部医療を考える集い」が、十一月十一日午後二時から鷹巣公民館で開かれ、行政、地域住民、医師会の三者が、それぞれの立場で地域医療はどうあったらよいかについて多くの問題点を提起しました。

当日は、三者の代表七人が救急、急患（時間外診療）救急車の利用、救急指定病院、集団検診、投薬などについての問題点が提起され、それぞれの立場から答弁するという形で行われましたが、それぞれ前向きな検討を約束、今後の医療に大きな収穫を得た集いでした。



青少年育成は地域ぐるみで

「鷹巣地区・世話人会」

十月十四日、鷹巣地区青少年健全育成世話人会主催の「青少年を語る会」が開催された。参加者は町内会長、PTA、老人クラブ、子ども会、婦人会、各種学校の代表など、約三十名であった。

主催者、世話人、中島喜代会長より「今後の活動についてみなさんの意見を聞きたい」とのあいさつの後、三上社教主事から問題提起として「青少年健全育成は地域のみならず同じ心で進まなければいけない。そのために、各団体が検討を要することが山積している」と述べ、意見交換に入った。

高校生のバイク規制の統一を

高校生を持つ親の会から「高校生には『バイクを乗りまわすことが楽しい』『友人関係には大人が干渉しないでほしい』という気持ちがある。しかし、これにはある程度の規制が必要で、各高校でそれぞれやっている。ところがその歩調が揃っていないので、親として大変困ることがある」との意見が出された。

三時の列車を阿仁合まで

寺田服装専門学校からは、「二時五十五分、米内沢止りの列車を



阿仁合まで延ばしてほしい。次の列車が六時三十四分までないことから、阿仁合方面からの生徒はそれまで町をぶらつくことも多いようだし、誘われるままに車に乗せてもらうことも多くあるので心配である」ことが出された。このことについては、後日世話人会で実情を調査することにした。

認め、育てる教育を

中央小からは「学校教育が、教える教育から育てる教育へと変わろうとしている」と述べ、事例として、子ども達が短い手紙文を書いて運転車に手渡し安全運転を呼びかけたら丁寧な返信が来て、自分たちのやっていることが認められたことに感謝していることが紹介された。

鷹小PTAからは、校外生活指導部員が、巡視や監視体制でよくがんばっているが、これではいかどうかを反省している。青少年協が掲げていることと、学校、PTAの活動とが一致するようにしなければいけないと思っている。との意見が出された。

三つの重点

町の青少年協は今年度の重点として、「家族の話し合い」「仲間づくりのための地域活動」「あいさつ運動」の三項目を掲げている。それに関連して、婦人会は「子供のおてつだいをすすめ家族の話し合いを深めよう」と呼びかけていること、老人クラブが、街の清掃や花壇づくりの奉仕活動をしていること、三吉町々内会では「あいさつはまず家族から」とよびかけるところ、町内全体の人々のあいさつがよくなり、明るい雰囲気になったことが紹介された。

最後に高橋教育長の「青少年の健全育成のため、みんなが歩調を合わせてやってほしい」とのあいさつで終った。

部落訪問



＝昭和＝

国道七号線を大館に向って走ると、大堤部落に続いて前野団地があり、そのすぐ東の方に見えるのが昭和部落である。国道から部落までまっすぐに走る道の両側には立派な水田が開けていて、部落に入ると、ゆるやかな傾斜に適當な間隔で住宅が並んでいる。

昭和二十年、戦争は終わったが大変な食糧難であった。政府は緊急開拓事業実施要項を決定しその実施を町村に委託した。綴子村長秩父威仙氏は、小糠沢、前野、ウル台、上台の採草地五十ヘクタールを開放し、これが実施に着手した。集ったのは村内の二・三男を主とする二十二戸、一戸当り二・二ヘクタール、昭和二十一年八月災天下で入植式が行われた。昭和部落の始まりである。

当時、南方、ハルマヘラ島から一家十人引き揚げ、開拓に加わり、リーダーとして苦難の道を歩いてきた渡辺勝蔵さん（八十五才）を訪ね、開拓のあゆみを聞いた。

車部から払い下げのテントに寝泊りし、早朝三時頃から起き

て、鋤で木の根掘りをした。晩秋になってようやく十坪住宅十戸を建てて貰って冬を越した。畑ができ、大小豆、陸稲を植えたが、強酸性の瘠土で収穫が思うようにあがらず五年後、水田計画を立てた。八方手をつくし農林漁業資金を導入し貯水池づくりに着工したが、ブルドーザーの故障等から工事が進まず、経費がかさみ挫折しそうになった。土地改良区理事長の渡辺さんは、自己保有の一・二ヘクタールの土地を売却し借金返済に当て難関を切り抜けた。一八ヘクタールから一千俵の供出は大成功であった。

融資を受け、全戸乳牛を入れたが仔牛が生まれず、北海道から妊娠牛を入れて、ようやく搾乳できるようになった。等々。「入植以来の二十二戸がそのまま続いているのは全国でも珍しいことです」と渡辺さんは語っている。

（公民館長 長崎 久）



昭和部落開田用水池

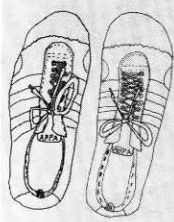
本と人と

伊勢町 佐藤 文雄 (39)



人は、さまざまな出会いを経験して成長していきますが、その中のひとつに本との出会いがあります。そして、その時々本との出会いには、その時々自分が映し出される鏡のような作用があることに思いあたるのではないでしょう。

よつねの作品



ぼくのズック
四年 布田 満

みんなの広場



きょうらぼく

オンコ。紅色で美味。
秋田県に自生もあるが、
多くは植栽されている。

(南小・阿部達雄先生)

うか。

「本を読むのが楽しい」、人はそう言いますが、私には読書は苦痛なもの、頭を悩ましむずかしい顔をして読むもの……といった概念が住みついていったのか、それとも私の能力を超えたものに、それと知らずに背のびしていたからなのか、とても楽しむゆとりなど見えない状態が長く続いたものです。しかし、そのように苦しみがあっても、私はひとつのことを確信するに至りました。本を読むということは、言うまでもなく個人に属することですが、そこから受ける感動は個人のものではあり得ない……ということです。

悲しい時、恐しい時、楽しい時、喜ばしい時、読者は自分の領域を超えて感動しているのですし、この感動を見い出せない時には、私は孤立しているということを痛いほど思い知らされたのでした。そしてその状態が続けば続くほど、人は自己中心的になり、やがては感動する心を忘れてしまうのだということを……。

南小学校

人が心を忘れ無感動になる、それは本当に恐しく、悲しいことです。おとなの人たちのなかに、純粹に感じることを拒否しながら何でもすぐに理解してしまう人の何と多いことでしょう。そんな人に限って自分を御大層な者と思いついでいるのですから、いつかどこかで、心が裏返しになってしまったことに気づかなかつたのでしょうか。こどもの頃に帰って、確かめられるというのが、(県北絵本童話を語る会会員)

わたしのおばあちゃん



竜森小学校2年
佐藤 美子

わたしのおばあちゃんは昼はよその田んぼへ手つだいに行きます。「つかれる」とよくいいます。この間、なで手をきったので、わたしがちゃんをあらいました。わたしのおばあちゃんをよくはたらくいいじな人です。

わがサークル

＝ 松生派 鷹巣支部 ＝

私たちの松生派は、昭和二十六年頃、今の秋北新聞社の二階(鷹巣女子専門学校)の最初の校舎で始められました。

当時は七、八人の会員でしたが、二十数年たった現在、会員数は約百名となり、教授活動をしておられる先生も七名ぐらいます。

十一月十九日には家元先生をお迎えして、鷹巣支部会として正式に発足し、式終了後、基本花型の講習会を行い、始めての家元先生の講義に、会員一同熱心に聴講いたしました。

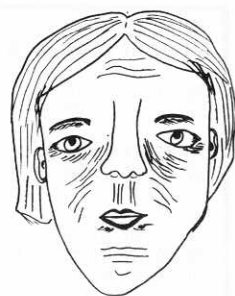
松生派の特徴としては、家元が秋田におられますので、直接指導が



(紹介者 三沢静子)

受けられ、実力が身につくこと、また、基本花型が終りますと自由花の研究が行われ、同じ花型にとどまらないで、新しい花型の工夫、多様化された生活様式にマッチする花型研究が行われていることでしょう。

「松生派」は全県一円にわたり、県外にも各支部が設けられております。来年は六十周年記念花展など、多彩な行事が予定されており、鷹巣支部も来年はぜひ花展を……、また年に一度は家元先生の講習会を……と計画しております。



おしらせ



一線美術会会員 九島紫二氏

十二月の健康相談

十二月の健康相談は、次のとおりです。

成人健康相談は、十三日と二十七日です。

時間は、午前九時から午後三時まで。血圧測定のほか、必要に応じて尿検査も行います。

フッ素イオンむし歯予防は、十三日です。

時間は、午後一時から午後三時まで。対象者は満三歳児以上の幼児で、おいでの時は母子手帳を忘れないでください。

妊婦健康相談は、十八日です。時間は、午前九時から午後三時まで。おいでの時は母子手帳を忘れないでください。

家庭教育巡回相談

＝移動杉の子広場＝

お子さんの健やかな成長を願って、町教育委員会と県教育委員会が共催で下記のとおり相談日を開設します。

お子さんの教育、医学、心理について不安なこと、気がかりなことを大学など専門の先生方が個別相談に応じます。

お気軽にご相談ください。

日時 12月14日 A M9.30～ P M3.00
場所 鷹巣公民館
申込 12月10日まで
鷹巣公民館（2-1130）または教育委員会（2-1111内線264）へどうぞ。

れずにお持ちください。

また、今月の母親学級は、沐浴指導と分娩後の注意について。

時間は、午前十時から十一時半まで。

糖尿病健康相談は、十四日です。時間は、午前十時から午後三時まで。食生活や日常生活の相談のほか、血圧測定や尿検査も行います。

一歳六ヵ月児健康診査は、二十一日と二十五日四月生まれと五月生まれとなっています。

受付時間は、午後零時半から一時半まで。

※場所、いずれも鷹巣公民館保健相談室です。

離乳食実習指導は、七日と五十三年五月生まれとなっています。受付時間は、午前九時半から十時半まで。

▽坊沢羽立＝津谷徳男さんから二女麻理子さん（4歳）の交通事故（死亡）で手当中、町民の多くの方々から献血を受けたお礼として一五〇、〇〇〇円

香典返し

鷹巣町社交ダンス教室の方々から、チャリティードンスパークの収益金一五、〇〇〇円
それぞれ社会福祉のために、町社会福祉協議会へ寄付金がありました。
ご芳志に深く感謝いたします。

▽北新町＝三沢栄明さんから亡父栄助さんの香典返し
三〇、〇〇〇円

▽綴子上町＝高橋利夫さんから亡父与七さんの香典返し
二〇、〇〇〇円

▽坊沢羽立＝津谷徳男さんから亡二女麻理子さんの香典返し
二〇、〇〇〇円

▽今泉＝成田勝美さんから亡妻イサ子さんの香典返し
二〇、〇〇〇円

▽小森＝佐藤公正さんから亡母ナツさんの香典返し
二〇、〇〇〇円



誕生おめでとうございます
11月1日～11月15日

九島 雅克（静夫 二男）岩 脇
出川 幸将（一幸 長男）榎 沢
長岐 祐介（順一 長男）学校通
木村 敦子（栄 二女）舟 場
山田 敦彦（敦 長男）高村 岱
畠山 千穂（鉄男 長女）松 沢

成田 太門（建文 長男）松葉町
今川 要（忠昭 二男）伊勢町
藤本 広樹（正広 二男）高野尻
佐藤 正文（政己 長男）栄町
佐藤 聡（敏則 二男）坊 山
佐藤 仁美（猛 長女）二本杉
成田百合子（鉄雄 二女）吉 野
二人の前途を祝福いたします

（斎 藤 節 子 務 協和町）
（佐 藤 均 子 坊 山）
（松 橋 信 子 小 森）
（仲 谷 知 昭 今 泉）
（本 城 谷 恭 子 新松葉町）
（石 田 幸 栄 大 町）
（伊 藤 典 子 阿 仁 町）
（小 松 明 夫 東 横 町）
（五 代 儀 富 美 子 元 新 町）
（山 口 甚 一郎 明 利 又 森吉町）
（山 田 ち え 子 森吉町）

おくやみ申しあげます

佐藤東之助（68歳）伊勢町
三日田カネ（52歳）大 町
高坂幸二郎（52歳）掛 泥
津谷麻理子（4歳）坊沢羽立
佐藤 ナツ（68歳）小 森
長岐 ワキ（65歳）七日市
佐井報三郎（77歳）北新町
近藤 リエ（78歳）西旭町
佐藤 ヨシ（82歳）小ヶ田
佐藤 正照（24歳）西旭町
戸島 リノ（90歳）街道町
藤田 ハル（83歳）街道町
和田 リツ（85歳）学校通
柴田 為治（70歳）南鷹巣